

# 五日市中央地区・社協だより

## コロナ禍の下火を願う

五日市中央公民館 館長 菅原 裕



本年4月に河内公民館から当公民館に着任し、早いもので4か月目に入りました。その間コロナの影響で広島県に緊急事態宣言が出されるなど、事業の中止や延期、さらには

各室の利用制限も生じ、公民館本来の業務ができない日々が続いている。グループ活動にも影響が出ています。

多くの方に来館していただき私の名前と顔を早く覚えていただきたいところ、それもなかなか叶わず、もどかしさを感じながら日々過ごしています。

しかし、コロナ禍にあっても暗い話ばかりでなく、嬉しい話もあります。それは、今年度公民館に待望のエレベーターを設置することです。

設置すれば、二階への上り下りが不安な方も安心して公民館を利用していただけるようになると思います。これまでにも増して公民館へ足を向けていただきたいと思っています。

さて、五日市中央学区は、地区社協や町内会連合会等の地域団体や、中・小学校等の教育機関が連携を図りながら様々な事業を実施していることに、地域のまとまりの良さを感じています。私も微力ながら、その中で当公民館の運営に精一杯努めて参りたいと思いますので、よろしくお願ひいたします。

いずれにしても早期にコロナ禍が下火になり、これまでのように活気あふれる公民館業務ができますことを願うばかりです。

発行:広島市佐伯区五日市中央地区社会福祉協議会  
地域の皆様とともに

鈴峰園保育園 園長 松川美香



園庭の大きな桜の木が、今年も見事な花を咲かせてくれました。暑い夏には、涼しい木陰となり、泥団子作りに夢中になっている子ども達をそつと守ってくれています。開園以来、桜の木は子ども達や園を見守り続けてくれているようです。

この桜の下、子ども達は広い園庭を走り回り、「楽しそう!」「やってみたい!」と好奇心いっぱいに遊んでいます。「なんだろう?」「おもしろそう!」「触ってみよう!」と様々なことを感じ、試していく子ども達。乳幼児期に体験の中で発見する驚きや喜び、夢中になって遊ぶことは、とても大切です。この遊びこそが、自分でやりぬく力のもとになり、小学校以降の学びに向かう力、思考力、判断力、表現力の基礎になると 생각ています。

人間形成の土台作りである重要な乳幼児時期。自然を肌で感じ、自分で考えて遊ぶ環境作りを皆様のお力を借りしながら進めてまいります。

子ども達がこの地域で、安心して、のびのびと成長できるよう、今後ともご支援のほどよろしくお願い致します。

とうもろこしの皮むぎ



「わ~、おひげがいっぱい!」

# 五日市中央小学校安全ガードボランティア

## ～通学路にて児童の登下校の安全指導の実施～



古谷幸則さん  
(中央四丁目)



河崎龍郎さん  
(中央四丁目)

お二人は、「おはよう」「おかえり」の声かけで、児童から”元気“をもらって頑張っています。  
これからも、子どものため、地域のため活動を続けたい、と話しておられます。  
そして、今お二人が心配されているのが後継者問題です。  
ご協力いただける方、お二人に声をかけていただければ幸いです。

### 「令和3年度敬老会」中止について

#### 暑中お見舞い申し上げます

皆さま、これまで経験したことのない制限の多い、窮屈さを感じる日常生活のなか、お元気でお暮らしでしょうか。ワクチンの接種はお済みですか。この機関紙が皆さまのお手許に届くころには東京オリンピックが無事に開催されているのでしょうか。とても心配です。一年半にもわたる新型コロナウイルスとの付き合い、ワクチン接種が進んでいるとはいえ、首都圏を中心に若者の感染者が予想以上に増加しています。しばらくしますとお盆もやってきます。早くコロナが収束して、久々にお子さんやお孫さんにお会いできるといいですね。

さて、多くの皆さまが心待ちにされていました9月開催予定の「敬老会」、今年度も新型コロナウイルスの収束が見込めないことから残念ながら中止とさせていただきましたことになりました。

この決定は「広島市主催のイベント等の開催に関する基本方針(令和3年7月8日改訂)」に沿うものであり、学区町内会連合会役員さんたちと熟議した結果でもあります。ご理解のほど何卒よろしくお願ひいたします。

また、ボランティアとしての参加を予定しておられた方々にも、引き続き、ご支援をいただきますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、自由に外出のできにくい、顔なじみの人たちとも話し合いにくい昨今ではありますが、まめに水分補給をされるなど呉々もお身体、お心を大切に、大切になさいますよう、笑顔を忘れられませんよう重ねてお願いいたします。

(会長 下川真稔)

#### <編集後記>

いよいよ「TOKYO 2020」オリンピックが開幕しました。無観客・有観客と喧々諤々ありましたが、一部を除いて無観客に落ち着いたようです。

私にとってオリンピックといえば、前回(昭和39年)の東京大会です。男子マラソンで、エチオピアのアベベ選手が裸足で走破し、ダントツでゴールしたシーンは本当に感動しました。今でも鮮明に記憶しています。

今回は、無観客で盛り上がりに欠ける面は否めませんが、超一流アスリートのパフォーマンスをテレビ棧敷で応援しましょう。

稻迫 ☎ 921-0124